

第Ⅱ章 合理的配慮の提供事例

1 学習に関すること

1 授業中に一方的な発言を繰り返す A さん

Aさんは、授業中、指導された内容に対して、思ったことをそのまま口にしたがり一方的に質問を繰り返したりしてしまいます。また、教師の発問や友達の発言中に割り込んで話し始め、授業が進められないこともあります。友達の中には、Aさんの行動に腹を立てる生徒もいてトラブルになることもあります。どう配慮していけば良いでしょうか。

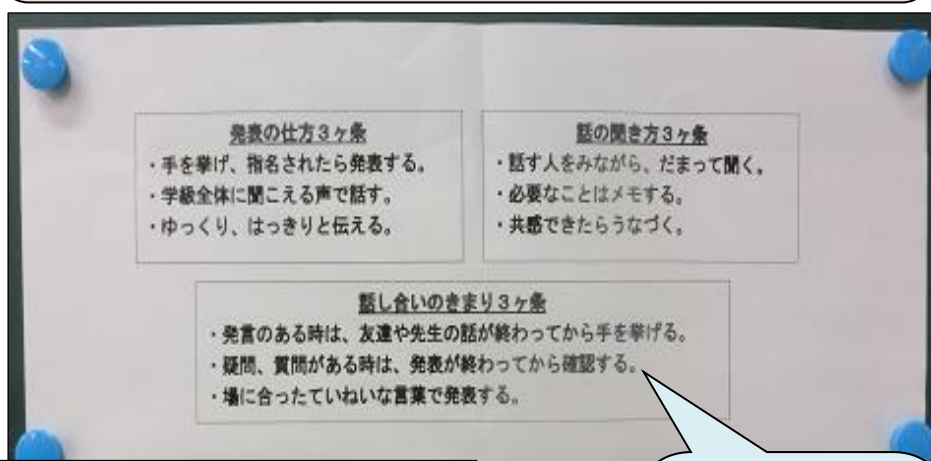
どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎周囲の状況を考えずに行動したりルールが難しかったりするため
- ◎自己肯定感が低く、自分の存在をアピールしたいため

1 ルールを決め掲示する <①-2-1>

- 発表の仕方や話の聞き方についてクラスで共通理解を図り、決めたルールは意識できるように、教室内に掲示しておく。

合理的配慮・具体的な支援(例)



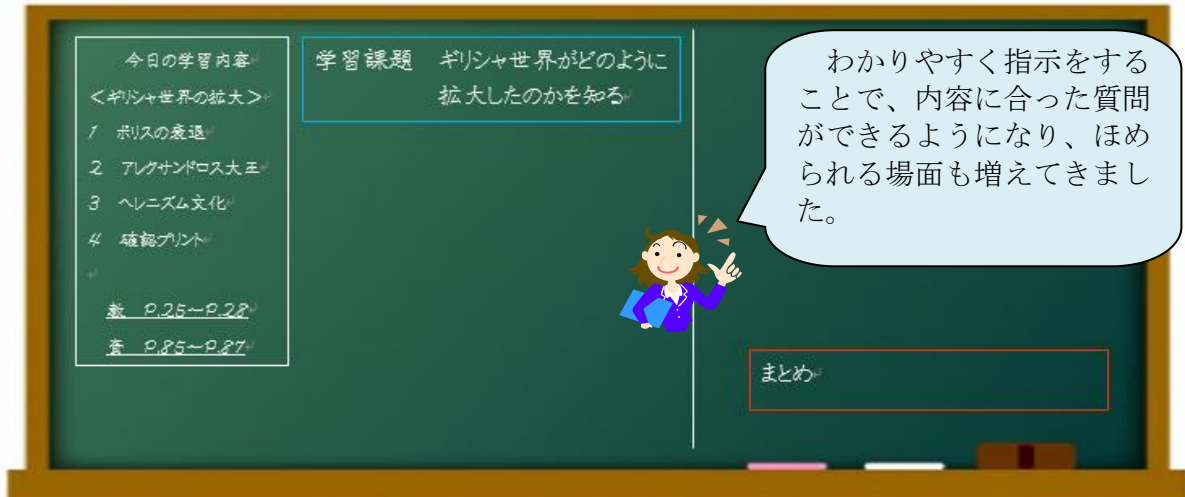
ルールの意識化を図る際、クラス全体に声をかけ、Aさんだけに注目が集まらないようにします。



具体的にどうしたらよいかのかわかり、教師とのやりとりもできるようになってきました。

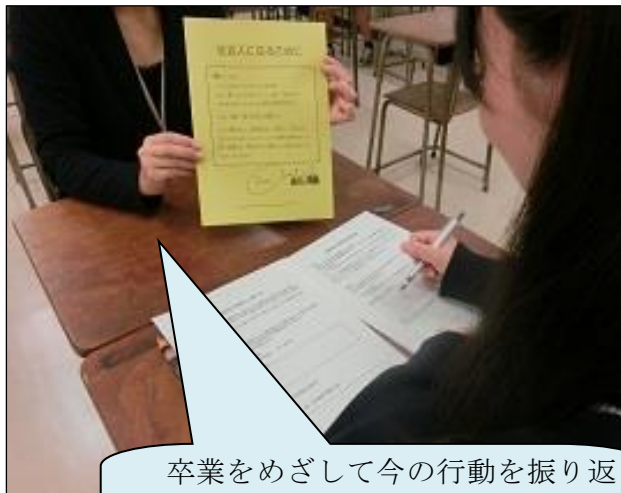
2 授業内容をわかりやすくし、授業中の指示を明確にする <①-1-1>

- 見通しをもって取り組めるように、授業の流れを統一して提示する。
- 課題や質問の内容等を板書し、発言内容がそれないようにする。
- 教職員間で共通理解を図り、どの教科でも同じ形態で板書をする。



3 個別に話を聞き、場面に応じた行動についての意識を深める <①-2-3>

- 個別に話を聞く時間を設定し、話を聞きながら自分の行動を振り返ったり高校生としての心構えについて考えたりする。
- ソーシャルスキルトレーニング等を通して、適切な状況判断について考える。



卒業をめざして今の行動を振り返り、学習や授業への取組方法を見直すきっかけとなりました。



特別支援教育コーディネーターを中心に、校内委員会やケース会議等で対応について話し合い、全校職員に周知し共通理解を図ります。また、個別の教育支援計画を作成し、対応方法等について確実に引継ぎを行います。

2 漢字を書くことが苦手なBさん

Bさんは、漢字の読み書きについて習得困難な課題があります。書字に困難があり、授業中の板書の漢字については、平仮名でノートに書きながら学習に取り組んでいます。漢字は時間をかけて書くことは可能ですが、かなりの時間が必要な状態です。どう配慮していけば良いでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎細かい部分まで形を正確に記憶することが難しいため
- ◎適切な字を思い出すことができないため
- ◎目と手を協応させることが難しいため

1 漢字を認識しやすくする <①-2-1>

- 手本を手元に置いて、見ながら書けるようにする。
- プリントなどの漢字の大きさを大きくしたり、その生徒にとってわかりやすいフォントにしたりする。
- 漢字にルビをつけ、生徒がひらがなで書いても良いことにする。

合理的配慮・具体的な支援(例)

しゅみ

趣味

趣味

趣味

趣味

趣味

〈いろいろなフォントの例〉

手本が手元にあると細かい部分も確認しながら書けるので間違いが減りました。

生徒が見やすく理解しやすいフォントにすることで、写しやすくします。ルビを付け、生徒が平仮名で書くということも認めます。

画数の多いものなど、確認しやすい大きさにすると良いです。



2 ICT機器やタブレット、アプリケーションを活用する

〈①-1-1〉×〈①-2-1〉

- 電子辞書を手元に置き、いつでも調べられるようにし、見ながら書けるようにする。
- 筆順アプリなどを利用して筆順を確認できるようにする。
- 写真撮影し、後で確認できるようにしておく。

筆順など、必要に応じて自分で確かめたり、調べたりできる方法をあらかじめ伝えておきます。



〈電子辞書〉

〈アプリケーションの活用〉



正しい筆順を自分で確認することができるようになりました。

3 書きやすい用紙等を用意したり、書く量や時間を調節したりする

〈①-1-1〉×〈①-2-1〉

- 使いやすい鉛筆や消しゴムを使用するようにする。
- 書きやすいマス目や罫線を用意し、自由に選べるようにする。
- 書く量を減らして負担を軽減したり、書く時間を十分確保したりする。

罫線の幅を広くして書きやすくします。他の生徒も自由に選んで使えるようにします。

ボランティア活動の感想 氏名 _____

ボランティア活動の感想 氏名 _____

ボランティア活動の感想 氏名 _____

〈罫線の幅を変えたプリント〉



自分でできそうなプリントを選び、最後まで書けたことで、できたという達成感につながりました。

4 授業担当者の共通理解 〈②-2〉

- 学習に支障が出ないよう配慮事項は授業担当者に確認をしながら学習を進められるようにする。



3 板書をノートに書き写すことが苦手なCさん

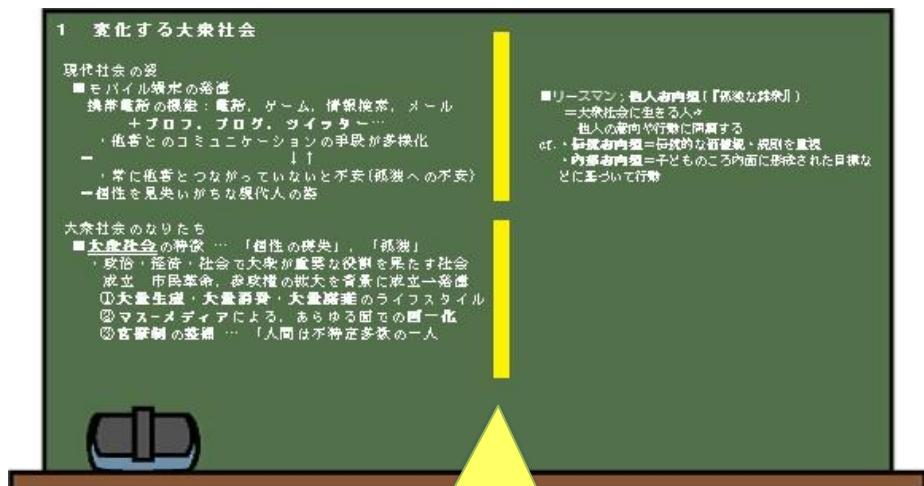
Cさんは、板書をノートに書き写すことに時間がかかり、全ての内容を書き終わらないことが多いです。どう配慮していけば良いでしょうか。

どうしてそうなるの？(考えられること)

- ◎板書と手元を対応させながら書くことが難しいため
- ◎文字や単語を記憶して、書くことが難しいため

- 1 書きやすくなる方法を工夫する <①-1-1>×<①-1-2>×<①-2-1>
○ノート形式で板書を分割したり、発色のよいチョークを用いたりする。

合理的配慮・具体的な支援(例)

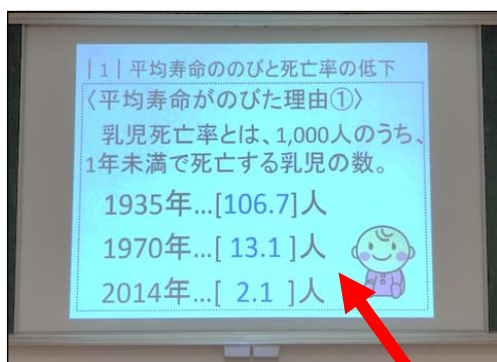


見開き2ページのノートに書くことを想定し、マグネットバーを使用し2分割の板書にしました。

2分割の板書によって、「どこに」「何を」「どのように」書けばよいかわかるようになりました。また、項目ごとに統一した色チョークを使い分けるようにすることで、見通しをもって板書を書き写すことができるようになりました。

2 文字や単語を記憶して、書くことの工夫をする <①-1-2>×<①-2-1>

- プレゼンテーションソフトを使い、スライドとプリントを対応させて使うようにする。
- 部分的にプリントを貼る。
- 書き写す時間を確保する。
- 板書する内容を手元に置いて書いたり、写真に撮ったりして、後で確認できるようにする。



書く分量を少なくし、説明を聞くことに集中できるようにします。
スライドやプリントに、口頭で説明する内容をできるだけ盛り込み、視覚的にもわかりやすくしています。

スライドの[]の中に記載されている、青い文字で書かれたキーワードをプリントに記入する約束事になっています。

私たちの健康のすがた

<1> わが国の健康水準は向上を続けてきた

| 1 | 平均寿命ののびと死亡率の低下

<健康水準の向上>

・平均寿命でみると

	男性	女性
1935年	年	年
2015年	年	年

<平均寿命がのびた理由①>

・1990年代初期のころ→[]の大幅な改善

乳児死亡率とは、1,000人のうち、1年未満で死亡する乳児の数。

1935年...[]人 1970年...[]人 2014年...[]人

<平均寿命がのびた理由②>

・近年では→[]の改善



ノートに板書を書き写すことが苦手な生徒でも、書く分量が少ないので、すぐに写し終えることができるようになりました。また、説明を聞く体勢が整えられました。
プリントに、補足的な説明を書き加える生徒も見られるようになりました。

<書くことへの負担を減らす>

見る・聞く時間と書き写す時間を明確に分け、書き写す時間を確保します。

部分的に貼る、板書内容を手元に置く、写真に撮るなど、板書を写しやすい方法を本人と相談して決めることが大切です。